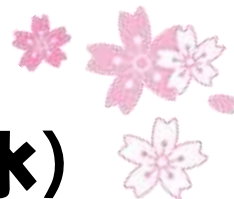


# 帯広市図書館からこんなことを発信しています。

その99 蔵書点検のお知らせ

## 蔵書点検のため休館します 5月27日(水)～6月3日(水)



蔵書点検は図書館内のすべての資料、約50万点を1点ずつ確認する作業です。館内OPACやWEBから資料の所在をスムーズに確認していただくために、資料が正しく収納されているか、破損しているものがないか、職員全員で点検します。期間中はご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いします。

そのかわり・・・ささやかですが、企画を用意しました！！

- ①大好評の拡大貸出を行います。  
期間限定 5月12日(火)～26日(火) 貸出に限り  
本は15冊、CD/DVDは5点まで  
貸出期間を通常より1週間長い3週間に拡大します。
- ②蔵書点検の現場に立ち会えます。  
図書館ミステリーツアーとして館内書庫などをご案内します。  
5月27日(水) ①10:30～ ②14:30～ (1時間)  
各回10名様限定、申し込みの方から抽選で決定  
(5月1日より申込受付、3階事務室または電話でお申し込みください)

お申し込み・お問い合わせ 帯広市図書館 電話:0155-22-4700

### 今月の特集

- ★帯広市図書館から、こんなことを発信しています。  
【蔵書点検のお知らせ】
- ★テーマ別オススメ資料  
【人生がときめく片づけ術】  
【季節に寄り添う生活】
- ★図書館をもっと身近に暮らしのなかに  
【雑誌スポンサーを募集】



CITY  
LIBRARY

2015.5 vol.101



帯広市図書館

# よむ☆トショ

テーマ別に図書館のオススメ資料をご紹介します!

図書館では、こどもの読書週間に合わせたイベントや展示を行っています。ご家族でご参加ください。

- 5月 3日 絵本と一緒に楽しみましょ♪(おはなし会)
- 5月 5日 なりきり図書館員(子ども職員体験)
- 5月 6日 図書館の奥の細道探検(館内ツアー)
- 5月 9日 しんぶん・ちらして遊ぼう!(工作教室)
- 5月10日 おじやる丸10年スペシャル(映画会)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

5月のカレンダー

色のついている日は休館です。

## 人生がときめく片づけマジック

アメリカの『TIME』誌が選ぶ世界で最も影響のある100人に片づけ研究家近藤麻理絵さんが選ばれました。この数年、断捨離や終活ブームなど、片づけることへ注目が集まっています。今月は、片づけ術の本を集めました。片づけること、捨てることは簡単なのに、ついつい物が増えていく生活を見直し、春の大掃除に取り組んでみてはいかがでしょうか。

### BOOK 『人生がときめく片づけの魔法』 近藤麻理恵; 著

サンマーク出版 1階生活 請求記号(597.5 ㉔)

「一度片づけたら二度とは戻らず」生活も向上、性格まで穏やかになり、3キロ痩せた。いいことづくめの「こまなり流片づけ術」。どんなふう片づけるか、捨てたことを後悔しない方法など、物に愛着を持ちつつもすっきり整理する日本的な技と考え方です。

### BOOK 『会社では教えてくれない頭のいい片づけ術捨てる術』 本田尚也; 著

ばる出版 2階ビジネス 請求記号(336.5 ㉔)

ビジネスシーンでの溜まるものと言えば、さまざまな書類。メモ書き、会議資料、連絡メールなど、捨て時がわからないものが多数発生。いつしか、紙に埋もれ情報が溢れ欲しいデータを探すのに時間を浪費する。そんなストレスと決別する方法です。

### BOOK 『「きれい」が続く片づけのアイデア & テクニック』 吉島智美; 著

日本文芸社 1階生活 請求記号(597.5 ㉔)

片づけ成功、すっきりした!!と満足したのもつかの間、いつしかものが溢れている…。そんな挫折経験のある方にはこの1冊。どんなことから取り組むのか、最初にチャートで自分の性格や消費傾向を把握してからステップアップしていく方法が紹介されており、背伸びしなくて良いやりかたで進めていきます。

### BOOK 『デスクワーク整理術』 オダギリ展子; 著

三笠書房 2階ビジネス 請求記号(336.5 ㉔)

会社のデスク周りを整理することで時短につながり事務処理能力がサクサク向上します。引き出しのレイアウト、書類のファイリング方法、コピー資料作成など、図解でわかりやすく紹介しています。ミスやモレが劇的に少なくなる考え方も公開されていてとっても参考になります。

成功している企業や人物の戦略を知ることで、さらなる思考力を身につけましょう。今月は、視点を変えて、常識を覆して成功した逆転の発想を紹介します。

### BOOK 『日本人だけが知らない「ニッポン」の観光地』 水津陽子; 著

日経BP社 2階一般 請求記号(689.21 ㉔)

外国人観光客の姿を目にすることも珍しくないこの頃。SNSで個人が発信する情報の影響力が大きくなり、日本のアチコチが観光地化しています。日本人には当たり前なことが外国人には感動的に受け止められることに驚きます。

### BOOK 『「よかれ」の思い込みが、会社をダメにする』 岸良裕; 著

ダイヤモンド社 2階一般 請求記号(336 ㉔)

会社や仕事を良くしようと思って取り組んでいるのに、業績が上がらない…と悩んでいる方に転機のきっかけになるのがこの本です。「考え方を考える」ことは大変ですが、「考える」ことで可能です。成功するための丁寧な理論的説明で納得して取り組みます。

### BOOK 『ネーミングがモノを言う』 飯田朝子; 著

中央大学出版部 2階一般 請求記号(674 ㉔)

商品名や人名など名前はイメージを喚起するものとしてとても重要です。東京スカイツリーの命名に関わった著者が受け入れやすいネーミングを事例を用いて説明しています。常識から少しだけ目線をずらすことが大衆受けする仕組みに注目。

### BOOK 『作って売ろう! LINE スタンプ』 フジイカクホ+ナイフク; 共著

技術評論社 2階一般 請求記号(547.48 ㉔)

俳優田辺誠一さんの画伯ぶりが話題となっている、LINEクリエイターズスタンプ。システムを利用して誰でも審査を通過すると自分のイラストを販売できる仕組みです。イラストが上手でなくても、ユーモアと愛嬌があれば成功する! かも知れません。

### BOOK 『最強ご当地定番のつくり方』 勝山良美; 著

日本実業出版社 2階ビジネス 請求記号(675.3 ㉔)

北海道土産に革命を起こした「カリカリまだある?」「ジャガ」を生みだした料理人兼経営者。2004年の参入からわずか10年で定番商品の牙城を崩すほどの勢いある商品を連発できたのはなぜか? 「売れ続ける商品」になる秘訣とは? 最強ノウハウ公開です。

### BOOK 『売れるキーワード事典』 梅田彰宏; 監修

ナツメ社 2階一般 請求記号(674 ㉔)

チラシやPOPなどに使う、相手に届く言葉のポキャブラリーは常に新鮮で豊富に持っていたいものです。ここで紹介している1050のキーワードを駆使して、注目を集めてください。「最近、使う言葉がマンネリ…かも」と気付いたら即、変えましょう。増やしましょう。



◆ ◆ ◆ 視点を変えたら ◆ ◆ ◆

## ◆ ◆ ◆ 季節に寄り添い生活に彩を ◆ ◆ ◆

春夏秋冬の四季でどんな季節が好きですか? 日本は四季がはつきりして私たちの生活もそれを意識しながら行事を行います。四季移ろいを敏感に感じることは、毎日を丁寧に大切に生きることにつながります。古くから伝えられてきた季節に関する言葉や由来を解説した本を紹介しします。

### BOOK 『イラストでわかる おうち歳時記』 三浦康子; 監修 今井夏子; 絵

朝日新聞出版社 2階一般 請求記号(386.1 ㉔)

行事のしきたりや由来を解説しています。暑さや寒さを楽しむ工夫や時期に旬物を食べる理由など、知っているようで曖昧だったことがわかります。なるほど、理にかなってなるなと納得できる1冊です。イラストもとてもかわいいです。

### BOOK 『こころもからだも整う しきたり十二か月』 井戸恵理子; 著

かんき出版 2階一般 請求記号(386.1 ㉔)

太陽と月の動きは千年前から変わらないものとして、毎日めぐってきます。変わらないこの営みに寄り添うことで、日本人の習慣が受け継がれてきました。同じく太陽の恵みである植物や自然のものを取り入れることで体調までも整う理由が書かれています。

### BOOK 『日本の暦と和算』 中村士; 監修

青春出版社 2階一般 請求記号(449.81 ㉔)

古来、日本では中国歴をそのまま利用していました。しかし、江戸時代、日本独自の和算の誕生により、日本の四季に合わせた国産暦が誕生します。その暦と和算の関係を歴史と人物から解き明かしています。いにしへの理系男子たちの物語です。

### BOOK 『美しい日本の季語 365日で味わう』 金子兜太; 監修

誠文堂新光社 1階文学2 請求記号(911.30 ㉔)

季節を強く意識する趣味に俳句があります。「五・七・五で季語を必ず入れましょう。」と習いました。この本では、季節を感じる言葉と秀逸な俳句を解説しています。イメージを伝える日本語の表現の豊かさや先人たちの感性の鋭さをじっくり味わえる本です。

